



お知らせ

【2025-26年度国際ロータリー会長、フランチェスコ・アレツツォ氏との対談】

ロータリーの新会長がロータリーでの体験、会長としての目標、オリブオイルとオペラへの愛について語る

フランチェスコ・アレツツォ氏は、地区大会で友人の隣に座っていました。そこに電話がかかってきて、国際ロータリー理事会との Zoom 会合に参加するために、その場を退席するよう言われたのです。数分後、アレツツォ氏は自身が2025-26 年度国際ロータリー会長に選出されたことを知りました。グローバルな会員制組織であるロータリーを率いる、イタリアから 3 人目、南イタリアからは初の会長。まだ正式に発表されていなかったのに誰にも話せませんでした。その後すぐに、部屋にいる人たちがスマホを手にする姿に気づきました。

「夜 11 時頃にソーシャルメディアで発表されたとき、私たちは晩餐会の最中でした」とアレツツォ氏。「その場にいた 400 人以上のロータリアンが一斉にスマホを眺めていました。何とも忘れがたい光景でした。突然、みんなが私の前に列をなして、お祝いの言葉をかけて抱擁してくれました。本当に感動しました」
続きは[こちら](#)

【カルガリー国際大会のフィナーレ：平和構築・識字教育・人身売買撲滅について考える】

2025 年ロータリー国際大会の最終日には、現在と未来のロータリーのリーダーにスポットライトが当てられました。

カナダ・カルガリーで開催された 2025 年ロータリー国際大会は、親睦と若返りの精神に包まれて幕を閉じました。閉会式では、国際ロータリー会長のステファニー・アーチック氏が登壇し、会員同士のつながりの力を再認識するよう呼びかけました。

「ロータリー最大の力は、ほかでもない会員である皆さん一人ひとりです。でも、私たちは仲間がいてこそ強くなれます。目標や戦略について頻繁に話しても、友情や励ましがなければ、それらは実を結びません。私たちがここに“居場所”を見つけてこそ、ロータリーの力が発揮されます。ロータリーは私たちの大切なコミュニティなのです」

[次期会長として 2025 年 6 月半ばに選出されたフランチェスコ・アレツツォ氏](#)など、2025-26 年度のリーダーたちも登壇。アレツツォ氏は、2025-26 年度会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」(Unite for Good)に対する強い思いを語りました。 続きは[こちら](#)

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

2025-26年度 目標(日本)

- ・年次基金：一人当たり 150 ドル
 - 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
 - EREY(年次基金への寄付)の推進
 - ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+10 名目標)
- ・ポリオプラス：一人当たり 30 ドル
 - ポリオプラス・ソサエティの推進(各地区50名目標)
- ・恒久基金：冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付：1 万ドル以上のご寄付 100 件、AKS10 名増(日本全体)
- ・DDF の有効活用
- ・ポリオプラスへ DDF の 20%を寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金活動の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 285
AKS会員数 73
PHS会員数 1672

【ロータリーのイニシアチブで遠隔地の助産師を支援】

妊産婦の命と健康を守るため、ロータリー会員たちは助産師のスキル養成とネットワークづくりを後押ししています。

現在、主に低・中所得国で、毎日およそ 830 人の女性と 7,000 人の新生児が、妊娠や出産に関連する合併症で命を落としています。これらの死亡のほとんどは予防できるものであり、その鍵を握るのが助産師たちです。ロータリー会員が中心となった取り組みにより、パプアニューギニアとオーストラリアで、助産師たちによる重要な仕事への支援が行われています。

世界保健機関(WHO)によると、世界の助産師数をわずか 10%増やすだけで、年間最大 130 万人の命を救うことができます。

オーストラリアのロータリークラブは、リーダーシップスキルやアドボカシーに関する研修を通じてこのニーズに応えようとしています。クラブは、オーストラリアおよびパプアニューギニアの助産師会と連携し、「パプアニューギニア助産師リーダーシップ・バディ・プロジェクト」を立ち上げました。今年 4 月に最後のワークショップが実施され、これまでにパプアニューギニアの助産師 52 人と、オーストラリアの助産師 31 人がこのプログラムでスキルを高めました。 続きは[こちら](#)

【満開の桜のもとで人力車が快走】

寄稿者：諸隈 武さん(相模原中ロータリークラブ会員)

当クラブでは 3 月 9 日(日)、相模原市内の橋本公園にて、NPO 法人「もあぴーす」、人力車「岡崎屋」、NPO 法人「スリーピース」と協力し、人力車体験イベントを実施しました。56 名の市民が参加したほか、当クラブ会員 19 名も現場で活動。「もあぴーす」が広報、参加者募集、人力車手配、当日の乗車サポートを担当し、当クラブは公園と道路使用許可の申請、安全管理、機材設営、駐車場、人力車の誘導などのサポートを担当しました。

きっかけは 2020-21 年度、麻布獣医大学と連携して障がいのあるお子さんやご家族を対象とした乗馬体験イベントを計画したことでした。あいにく、コロナ感染症対策のため大学側が実施困難と判断して断念。その代わりに、「もあぴーす」と協力して人力車体験を 1 回開催しましたが、コロナ禍の制約もあり、規模は限定的でした。 続きは[こちら](#)

ポリオプラス

【WHO事務局長による2025年ロータリー国際大会でのスピーチ】

執筆者 テドロス・アダノム・ゲブレイェソスさん(世界保健機関(WHO)事務局長)

ステファニー・アーチック ロータリー会長、フランチェスコ・アレツツォ会長エレクト、そして敬愛するロータリアンの皆さま、親愛なる仲間そして友人の皆さま

(前略) 私とロータリーとの関係は長く、エチオピアの保健大臣時代にさかのぼります。ポリオだけでなく、母子保健や水・衛生など、数多くの分野でロータリーは多大な支援をしてくださいました。



リソース

<My ROTARY>

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[ロータリーの YouTube](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

ポール・ハリス・フェロー

認証ポイント使用申請書の

送付先は、

RIJPNTRF@rotary.org です！

★最新のポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書をご利用ください(最下部の送付先を上記アドレスに更新済み)。

★kifu@rotary.org は寄付送金明細書の専用アドレスとなります。

ロータリーが私の国と国民のためにどれほどの変化もたらしたか、私はこの目で見てきました。2015年には外務大臣としてエチオピアのロータリー60周年をお祝いする機会にも恵まれました。今年6月にはエチオピアのロータリーが70周年を迎えられたことを、お祝い申し上げます。故ギルマ・ウォルデギオルギス大統領(名誉ロータリアン)をはじめ、歴代地区ガバナーであるシフラウ・ビズネ氏、ナフセナイ・アラヤ氏、タデセ・アレム氏など、多くのロータリアンと共に活動しました。この4名は、アフリカから野生型ポリオウイルスをなくすために大きく貢献されました。この機会にその功績に敬意を表したいと思います。続きは[こちら](#)

【アフリカ開発会議(TICAD 9) 公式テーマ別イベント開催のご案内】

2025年8月20日(水)、[世界ポリオ根絶推進活動\(GPEI\)](#)は、第9回アフリカ開発会議(TICAD 9)の公式テーマ別イベントとして、尾身茂先生(WHO 西太平洋地域事務局名誉事務局長・ロータリーポリオ根絶アンバサダー)をお招きし、イベントをパシフィコ横浜にて開催します。

当日は、尾身先生による基調講演に加え、国内外のポリオ専門家によるパネルディスカッションを通じて、アフリカを含む世界のポリオ根絶の現状と今後の展望を共有します。また、会場ではアフリカの現場で活動するヘルスワーカーの1日に没入体験できるVRコーナーも設置予定です。VRでは、カルガリー国際大会に参加された松田英郎様(第一地域ポリオ根絶コーディネーター)と神野正博様(第二地域ロータリー公共イメージコーディネーター)による応援メッセージも紹介されます！(VRコーナーは、8月20日～22日まで体験可能)

ポリオ根絶の実現に向けて、私たち一人ひとりができることを共に考える機会です。ぜひ奮ってご参加ください。

「コミットメントから行動へ：アフリカにおけるポリオ根絶のためのパートナーシップ強化」

- 日時：2025年8月20日(水)18:00～19:30
- 場所：パシフィコ横浜 ホールD(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
- 対象：グローバルヘルス、国際保健、ポリオ、アフリカ支援に関心のある大学生・一般市民
- 参加費：無料
- 参加申込リンク：

<https://www.projectliaison.org/jp/ticad9-polio-side-event>

(主催：一般社団法人リエゾン、共催：世界ポリオ根絶推進活動(GPEI))

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト：[GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2025年 1月1日～ 7月21日	2024	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	14	74	6	20	1
	アフガニスタン	2	25	6	2	4
非常常在国	モザンビーク	0	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	0	1
世界合計		16	99	12	30	6

寄付・認証

AGOオンラインセミナー 「年次基金 勉強会」開催のご案内

このたび、ロータリー財団の中核をなす「年次基金」についての理解を深め、より効果的な推進活動につなげていただくことを目的に、オンライン勉強会を開催いたします。

年次基金は、ロータリー財団のさまざまなプログラムを支える主要な資金源であり、「年次基金—シェア」に指定されたご寄付は、地区財団活動資金(DDF)として各地区に配分され、世界をよりよいものとするための補助金プロジェクトの実施に活用されています。

本勉強会では、寄付の種類や認証といった基本的なことから、推進のヒントなど実践的な内容を中心にお届けいたします。多くの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

<開催概要>

- **日時:** 2025年8月28日(木) 14:00~15:00※事前の参加登録は不要
- **形式:** Zoomミーティング 以下よりご参加ください
[ZOOMミーティング 入口はこちら](#)
 ミーティング ID: 955 2786 3344 パスコード: 451657
- **対象:** 地区ガバナー、地区財団委員長、地区資金推進小委員長、地区年次基金小委員長、地区PHSコーディネーター、その他ご関心のある方どなたでもご参加いただけます
- **進行:** 国際ロータリー日本事務局 財団室 寄付推進コーディネーター (AGO) 近藤 かおり

<セミナー内容(予定)>

- ロータリー財団への寄付
- 年次基金と恒久基金の違い
- 年次基金と認証(PHSなど)の関係
- 推進活動のための工夫と成功事例
- 推進活動に役立つヒントやアイデアの共有
- レポートの見方と活用できるリソース紹介

<本件に関するお問い合わせ先>

国際ロータリー日本事務局 財団室 寄付推進コーディネーター(AGO)
 近藤 かおり Eメールアドレス: Kaori.Kondo@rotary.org
 Tel: 03-5439-5805

【2025-26年度版 寄付・認証の手引き 更新のお知らせ】

クラブの皆さまから寄せられるご質問をもとに、「寄付・認証の手引き」を2025-26年度版に更新いたしました!

【こんなときに役立ちます】

- ・寄付分類は何にすればいい?
- ・会員のPHFレベルを確認したい
- ・寄付の累計額を知りたい
- ・ポール・ハリス・ソサエティに入りたい!

ダウンロードは[こちら](#)



リソース

<資料>

- [年次基金とシェア](#)
- [寄付者の認証](#)
- [税制上の優遇措置](#)
- [オンラインでの寄付](#)
- [認証ポイント使用申請書](#)
- [年次基金リソース](#)
- [ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)
- [PHS 入会フォーム](#)
- [PHS 認証状テンプレート](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

[DDFの繰越金に関する制限:よくある質問\(FAQ\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

- [パワーポイント](#)
- [動画](#)

恒久基金

- [「恒久基金 地区の手引き」](#)
- [ロータリーの恒久基金](#)
- [恒久基金の財務報告](#)

[END POLIO NOW](#)

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

[クラブ優秀賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

(使用するDDFの年度を、2021または現年度から選択)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区には、次年度に感謝状が贈られます。

【公益財団法人ロータリー日本財団 領収証について】

2025 年 1 月から 6 月までの個人寄付の確定申告用領収証を、2025 年 7 月下旬にクラブ宛てに投函予定です。

領収証が届きましたら寄付者へお渡しいただき、必ず金額、お名前などをご確認いただくようお願いください。

なお、領収証は半年間の合計寄付額です。記載の日付は半年間の最終寄付日です。(振込みとクレジットカードによる寄付は、別々に発行されます。)

原則として、領収証の再発行はできません。紛失には十分にお気をつけください。

誤りがありましたら、公益財団法人ロータリー日本財団

(rijpnfs@rotary.org)までご連絡下さい。

同封物

1	確定申告用寄附金 領収証についての お願い	クラブへの送付状です。
2	寄附者の皆様へ	確定申告に関する説明書です。 コピーして寄付者へお渡しください。
3	領収証一覧	発行された領収証の一覧です。クラブで保管してください。 ※領収証 No.の末尾に「G」と表記があるものは、クレジットカードでのご寄付です。銀行振込の分とは別に発行されます。
4	確定申告用寄附金 領収証送付の ご案内(領収証) 税額控除に係る 証明書	表面：下部に確定申告用寄附金領収証が付いています。寄付者に原本をお渡しください。 裏面：当財団が税額控除対象の団体であることの証明書です。 ※領収証の寄付金額は半年間の合算金額となり、日付は最後の寄付日となります。

補助金

【タイ山岳民族の定住化へ向けての農業研修】

寄稿者：笠原元樹さん(豊橋ロータリークラブ会員、2024-25 年度クラブ国際奉仕委員長)

豊橋ロータリークラブでは、1998 年より独自に国際奉仕活動「タイの山岳民族定住化と農村開発の支援」に取り組んでいます。きっかけは 1995 年にバンコクで開催されたロータリー最後のアジア大会。環境問題の勉強会での講師だったプラティープ博士(タイ、ベンジャシリ・ロータリークラブ特別会員)が語るタイの環境問題への取り組みに、勉強会に参加した当クラブ会員が惚れ込んだことです。それから構想が 3 年間温められ、豊橋ロータリークラブ独自の国際奉仕活動へとつながりました。

支援する先は、タイのチェンライ県ラックペンディング村に住む山岳民族のモン族の人たち。村は首都バンコクから約 800km 離れた北部にあり、ミャンマーとラオスとの国境あたりに位置するケン(麻薬の原料)栽培地帯として有名なゴールドトライアングルの一角にあります。モン族は焼畑農法に頼る移住生活をしており、土地が痩せたら国境も関係なく他の地へ移動する生活を送っていました。続きは[こちら](#)

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

[補助金の申請](#)

[授与と受諾の条件](#)

- [地区補助金用](#)

- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の実施](#)

[インパクトハンドブック](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー](#)

[補助金の利用 よくある質問](#)

[補助金に関する各リーダーの責務](#)

[変化をもたらそう: ロータリーの補助金](#)

[地区ロータリー財団委員長補助金](#)

[ハンドブック](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)

- [疾病予防と治療](#)

- [地域社会の経済発展](#)

- [母子の健康](#)

- [平和構築と紛争予防](#)

- [水と衛生](#)

- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[奉仕プロジェクトセンター](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェロウシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[地区の参加資格認定 FAQ](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

【自分にできることから始める国際奉仕】

寄稿者：古川公士さん(東京銀座ローターアクトクラブ会員)

私が所属するクラブでは、およそ 15 年にわたってネパールの小学校を支援する国際奉仕活動を行っています。ネパールはアジアでも貧困問題が続く国の一つであり、GDP の約 25% は海外出稼ぎ者からの郷里送金で成り立っています。また日本で働くネパール人は外国人労働者のベスト 5 に入ります。

「子どもたちに会って、夢を与えてください」

私がローターアクトに入会する以前、ローターアクトがまだ青少年奉仕プログラムの一つだった 2008-09 年度、クラブで社会奉仕活動は行っていましたが、国際奉仕活動がほとんどできていませんでした。当時、社会奉仕活動でお世話になっていた方からネパールで小学校支援をしている方を紹介していただき、その方に「国際奉仕で何をしたらいいか」と尋ねたところ、最初に言われた言葉は「子どもたちに会って、夢を与えてあげてください」でした。 続きは[こちら](#)

【大規模プログラム補助金の新たな受領プログラムを発表】

2025 年大規模プログラム補助金は、プログラム「コロンビアにおける平和と繁栄への道(Pathways to Peace and Prosperity in Colombia)」に授与されることが決定しました。ロータリーが主導するこの取り組みは、四つの都市と農村地域に積極的平和のための拠点を設立し、長期にわたる暴力と武力紛争によって引き起こされた社会的排除、食料不安、貧困などの不平等に取り組みながら、紛争解決の能力を高めます。(このプログラムの詳細は[こちら](#))

ロータリー財団は年間に最大 1 件の[大規模プログラム補助金](#)を授与しますが、今回の選考では、持続可能な変化をもたらす可能性を秘め、入念に立案され、証拠に基づいたほかの 2 件のプログラムが最終選考に残りました。

- [フロリダにおける若者のメンタルヘルス支援\(Mental Health Support for Youth in Florida\)](#)
- [ウガンダにおける妊産婦・乳児ケアの改善\(Improving Maternal and Infant Care in Uganda\)](#)

これらのプログラムの可能性をロータリーは高く評価しており、財団専門家グループ(Cadre)や外部の専門家によって綿密に審査されました。どちらのプログラムも、地区財団活動資金またはほかの資金を通じた資金支援を必要としています。その資金でプログラムの成果を拡大させるグローバル補助金を実施し、国内外での成長を目指すことができます。

各プロジェクトの詳細や連絡先は、上記リンク先(PDF)をご覧ください。
皆さまのご支援をお願いいたします。

【グローバル補助金-報告書】

■ 報告書の期限を厳守してください

グローバル補助金の報告書は、支払または前の報告書の受理から1年以内が報告書の提出期限です。プロジェクトが終了した場合は、2か月以内に最終報告書をご提出ください。

■ 奨学金-報告書の留意点

奨学金の場合、就学の終わりと報告書の期限がずれていることがあります。期限は補助金センターでいつでも確認でき、2か月前から赤字で表示されます。期限と終了が近い場合は早い方に合わせてください。

受入側には奨学生が集中するため、奨学金プロジェクトの報告期限が過ぎたことにより、次の申請書の承認や支払いが停止されることが起こります。わずかな期間であっても、期限を過ぎないようにお願いします。資金を使い切っていれば、早めに報告書を提出することも可能です。

奨学生が作成するのは、申請書や報告書の一部です。会員による入力完了しないと提出のための承認に進めません。奨学生が入力を完了しているにもかかわらず数カ月たっても提出されない、提出済と誤解しているというケースが多くみられます。必ず会員にて、[補助金センター](#)を開き、報告書が提出されていることをご確認ください。

【グローバル補助金 補助金受領口座情報の提出】

申請書提出後に、補助金受領口座情報の提出が求められます。受領口座の提出は承認条件となりますので、クラブ/地区が補助金を受領する場合は、名義にクラブ名/地区番号を含む補助金専用口座をあらかじめご準備ください。提唱者がクラブの場合はクラブの口座、地区の場合は地区の口座を使用します。(海外のパートナーが受け取る場合は不要です)。また、確認のため口座名とフリガナが記載された情報(通帳の表紙と内側など)もアップロードしていただくようお願いいたします。(口座情報の提出について: [「補助金センターのご利用ガイド」](#)p.16～)

※個人口座や奨学生の口座には、補助金を送金できません。

口座入力画面 (代表連絡担当者のみが、銀行口座情報入力ページにアクセス可能)

[My ROTARY](#) → 補助金センター → 「私の補助金」または「実行アイテム」を開きます。

<提出済>または<財団の承認済み>にある補助金番号をクリックして申請書を開き、申請書の右側にある<銀行情報>を開きます。

入力項目	概要
口座の管理者	提唱クラブ/地区
銀行所在地	Japanを選択。(続く下の項目が調整されます)
通貨	JPY
送金方法	Electronic Funds Transfer(EFT)を選択。(銀行振込)
送金先	提唱者がロータリークラブの場合はクラブ、地区の場合は地区、ローターアクトクラブの場合はローターアクトクラブ。
口座の種類	Saving(普通預金)、またはChecking(当座預金)のいずれか。
銀行口座名義	振込用の名義をカタカナまたはローマ字で入力してください。 ※代表者名は、振込に必要な場合のみご入力ください。入力を省くことで、年度替わりに代表者が変更になっても、口座名義の修正をロータリー財団に報告する必要がなくなります。
口座番号	重要! 正確にご入力ください。
銀行名	ローマ字入力。(例:三井住友銀行 = MitsuiSumitomo Ginko)
銀行コードと支店コード	重要! 正確にご入力ください。銀行コード(4桁)店番号/支店番号(3桁)
支店名	ローマ字入力。(例:三田支店 = Mita)

- **銀行口座署名人:** 提唱者がクラブの場合はそのクラブの会員、地区の場合は地区の会員から2名選びます。
- **アップロード:** 画面の説明と異なりますが、送金を正確に行うため、振込に必要な口座名義とフリガナが記載された情報(通帳の表紙やネットバンクの画面)をアップロードします。
受領口座に現金拠出金を直接入金した場合は、それを示すページのアップロードもお願いします。

※口座情報提出後に、追加でファイルをアップロードした場合は、メールにてアップロードしたことをお知らせください。

注意! 通帳の写しや銀行情報を E メールで送らないでください!

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付・ご誓約)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2025年6月17日～7月16日 確認分 (敬称略、寄付・誓約日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2620	浜松ハー モニー	中村 皇積	2780	アーカス 湘南	原 いづみ
2790	富里	寒郡 茂樹	2680	神戸西神	丸尾 研一
2510	札幌北	出村 知佳子	2680	神戸西	矢坂 誠徳
2590	横浜西	金杉 誠	2550	足利	羅田 秀顕
2520	仙台	加藤 雄彦	2770	浦和	細淵 雅邦
2580	東京目白	並木 正幸	2550	宇都宮90	飯村 慎一
2580	東京目白	南山 幸弘	2780	平塚西	山田 雅孝
2750	東京銀座	服部 悦子			
計 16 名 (匿名1名含む)					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)

[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)

[「END POLIO NOW」のロゴ](#)

[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)

のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリ
ソースセンター](#)

[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

7月～ 9月15日	ロータリー最優秀 学友会賞、ロータ リー学友世界奉仕賞 推薦期間
7月～ 10月1日	ポリオのない世界 を目指す奉仕賞 推薦期間
10月24日	世界ポリオデー

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階

Email: RLJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405



アーチ・クランフ・ソサエティ会員 レベルアップ・新会員

第 2680 地区 丸尾 研一・正子様 財団サークル

第 2590 地区 金杉 誠・美鈴様 管理委員長サークル

第 2750 地区 服部 禮次郎・悦子様 管理委員会サークル (73 組目)

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等にはできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。